

小樽市支部の学校配当予算・事務改善要望活動について

小樽市立潮見台小学校
中山好明

1. はじめに

小樽市公立小中学校事務職員協議会では、2年に1度会員からのアンケートを基に学校配当予算及び学校事務改善について要望をまとめ、教育委員会に提出し回答をもらい、その内容について協議会役員と教育委員会とで話し合いを持っています。

小樽市学校の予算要望活動は、学校から施設設備の要望の提出はありますが、具体的な予算要求書の提出はありません。予算要望については、任意の団体が教育委員会に要望書を提出し回答をもらう形が定着し、事務職員協議会も、その一つの団体となっています。

小樽市の小中学校数は現在小学校24校・中学校14校合わせて38校あり、今年度末には統廃合により小中学校4校が減少し、その後も統廃合が行われ最終的には21校になる予定です。

事務職員協議会の会員は32名おり、研修は3ブロックに別れブロック別研修を行っています。親睦行事も行い、会報の発行も行っています。その他、事務局が教育委員会等の窓口の役割にもない、予算担当者会議の日程調整、予算手引書の改訂連絡、教職員事務センターへの旅費請求事務の問い合わせなども行っています。

学校の設備等の状況は、ICT整備の補助金活用時期と、赤字再建団体転落危機の時期と重なり、補助金の活用ができず、ICT関連の機器の導入が遅れています。職員への校務用パソコン導入も遅れ、全校で職員へのPC配置が平成28年度完了予定です。

また教育予算での政策予算は、統廃合による校舎整備・耐震工事に重点がおかれ、建築関係以外に予算付けがなされていない状況です。

学校での予算執行は、公文書のメール送受信による学校での印刷、学力向上事業による印刷物の増加により、印刷関係費の割合が

年々増えています。ただ、小樽市の配当予算は、ほとんどの学校で流用が行われ、印刷関係費の支出に充てています。そのために配当予算による備品整備についても遅れている状況です。

このような中、事務職員協議会としても、以前から行われている学校配当予算・事務改善要望をいかし、より学校の実情に合わせた予算内容等にならないか、教育委員会に要望し意見交換をしているところです。

ここでは昨年度行われた、学校配当予算・事務改善要望について紹介したいと思います。

2. 2014年度要望書の作成から会員に回答内容配布までの手順

・6月一会員に小樽市教育予算及び事務改善等のアンケート実施

・目的

1993（平成5）年度に開始して以来、隔年で11回実施し、その度に会員の声をもとに作成した「要望書」を関係機関に提出してきました。一定程度は理解され改善されたものもありますが、課題はまだあります。今年度もアンケート調査を行い、子どもの学習権・教育の機会均等の保障を軸として教育予算として要望していくとともに、事務改善の要望等を市教委に働きかけ、学校事務に関わる諸課題の解決をめざしていきたいと思えます。

・内容

① 小樽市教育予算について

学校配当予算（施設管理課、学校教育課、指導室）・市教委取置・予算執行・予算要望・予算編成など教育予算全般について
疑問点・改善事項

② 日常業務について

市教委との関係（予算に関すること以外）で、日常の業務遂行上で、困っていること・改善してほしい点・問題点等
※市費事務職員が配置されている学校は、その方からも要望を聞く

③ 小樽市立小中学校 学校規模・学校配置適正化基本計画について

④事務センター・後志教育局・全道協議会等に対する要望

- ・ 6月20日までアンケートの回収
 - ① - 14件
 - ② - 33件
 - ③ - 3件
 - ④ - 7件の要望がありました。
- ・ 7・8月の役員研修会で、市教委要望内容の確認
要望内容の絞り込み
- ・ 9月に市教委に要望書提出
 - ① - 7件
 - ② - 9件
 - ③ - 1件の要望書作成
- ・ 10月市教委より回答
全項目に対して、教育長名で回答有
- ・ 10月28日 回答を受け市教委担当課と意見交換会
教育委員会各課担当者と協議会役員
- ・ 11月11日 会員に要望内容・回答・意見交換の内容を文書で配布

3. 2014年度主な要望内容

◎予算関係

- ・ 小樽市では印刷関係の消耗品が増加し、配当予算のかなりの部分を占めています。そのため、ほとんどの学校で備品費から消耗品費への流用がなされ充当されている状況で、消耗品費の予算増を要望しました。
- ・ 児童用机・椅子整備、カーテン・暗幕整備について以前は教育委員会で対応されていましたが、現在は行われていないため、その復活を要望しました。
- ・ 除雪機については長年市内学校での新規購入が無く、各学校とも修繕費の出費が多いことから、1台でも新規購入ができるよう要望しました。
- ・ ICT関連では、小学校に実物投影機が1~2台(学校規模による差)配置されましたが、その後の配置計画について教育委員会の考えを問いました。

◎事務改善要望

・ 公文書の取扱いについて、提出物は校務用パソコンが全職員に整備されていない段階では基本紙媒体という確認と通知文書の発出における過程の確認を問いました。

・ 就学援助事務処理要領へ記載例をつけてほしいと要望しました。

・ 事務職員の代表と教育委員会職員との定期的な打ち合わせ会議の提案をしました。

◎小樽市立小中学校 学校規模・学校配置適正化基本計画について

・ 新築校舎建設にともない、事前に意見集約を行い生かせるシステムをつくってほしいと要望しました。

4. 回答と意見交換会から

◎予算関係

消耗品が不足している学校の実情については、教育委員会各課、各係とも理解されていますが、それが教育委員会から財政当局にどう伝わっているかは不明でした。

今回、教育委員会の取り置き予算が少ないことが話し合いからわかり、従来教育委員会で行っていた事業である児童・生徒用机椅子の整備や教室カーテン整備、黒板の張り替え予算が削られ、新たに予算付けするには学校配当予算からまわさなければならないことがわかりました。

また、ICT関連予算については、今後は配当予算で整備するしかないとのことですが、学校の利用頻度を調査し、財政当局に必要性を要求していく確認をとりました。

長年要求してきた、除雪機については財政当局に1台でも更新できるよう予算要求していくことを確認することができました。

◎事務改善要望

公文書関係では、学校現場と教育委員会で通知文書と連絡文書の認識に違いがあることがわかりました。

提出文書についても、紙媒体を基本とする学校とメール送受信できるパソコンが1台あるのであれば、メール送信を主とする教育委員会との違いがわかりました。

就学援助事務処理要領での記載例については、来年度より「記載例等をのせ、よりわかりやすいものにしたい」と回答がありました。

事務職員との定期的な打ち合わせ会議ですが、情報交換となる機会になればと前向きな回答がよせられました。

◎小樽市立小中学校 学校規模・学校配置適正化基本計画について

校舎新築に関しては、統廃合校で意見集約しているので、そこで意見反映してほしいとの回答でした。

◎教育委員会から

・小学校理科備品台帳の変更の提案がなされました。

・実務要覧請求書の扱い及び中学校準教科書の予算について意見を求められました。

※その場で協議会役員としての意見を述べました。

5. おわりに

小樽市公立小中学校事務職員協議会では、研修・親睦にとりくむ他、教育委員会に会員からのアンケートをもとに2年に一度教育委員会への要望活動を行ってきました。

教育委員会からは、誠意ある回答が寄せられるとともに、教育委員会からの新たな提案に対する意見を聞く場としても活用されています。

また、事務改善関係では、意見を出すことにより事務が円滑に行われるよう教育委員会と協力していきたいと考えております。

今後とも、この要望を小樽市公立小中学校事務職員協議会の活動の一つとして、続けていきたいと考えております。

さらに、今回提案した教育委員会と事務職員との間で、定期的な話し合いをもつことにより、学校での予算執行状況等を教育委員会に把握させるとともに、予算編成に学校の意見を取り入れてもらう手段になればと考えております。

また、この会議が発展して小樽市で学校間連携など新たな展開に繋がることも期待します。